



▲琴をバックに「音夢」の皆さん
(前列左から二人目が岩本雅悠弥先生、三人目が渡部忠夫代表)

新発寒地区センターでは、毎週木曜日の午前中に優しい音色が響いています。

同センターで活動している、箏曲サークル「音夢」の皆さんの琴の調べです。このサークルは、平成4年に開かれた講座をきっかけに結成されました。現在は、岩本雅悠弥先生の指導の下12人のメンバーが練習を行っています。「経験者のみならず、全くの初心者もいるので、一人で演奏するのは違い、皆で合奏することで音に幅が出て楽しくやっています」とメンバーの一人は話します。

同サークルでは、近くの中学校や児童会館などで出前授業を行ったり、福祉施設などで演奏を披露しています。出前授業では、演奏のほか、子どもたちの体験学習も行っています。

「子どもたちから『テレビなどでしか見たことがなかったけれど、実際に聴いてみてきれいな音だと思った。初めて琴に触って、楽しかった』などの感想を寄せられることが、練習の励みになります」と楽しそうに話す代表の渡部忠夫さん。また指導の岩本先生は「日本の伝統文化である箏曲を多くの人に聞いてもらい、琴を知らない人には直接触れて、楽しんで欲しいと思っています。興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください」とにこやかに話していました。

箏曲サークル
「音夢」



▲新陵中学校での出前授業
初めて触る琴におっかなびっくり



▲福祉施設では昔懐かしい曲を披露

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639